

お知らせ

- ・若手研究者支援 応募説明会

德音塾

- ・お茶大女性リーダー育成塾: 德音塾 2025年度後期活動報告と2026年度の講座案内

開催報告

- ・2025年度みがかずば研究員交流会
- ・IGLセミナー
「誰もが生き生きと共にある社会を目指して」
- ・IGLセミナー
「延長線上にない、私たちらしいキャリアの紡ぎ方～迷いと選択のリアル～」
- ・お茶の水女子大学創立150周年記念国際シンポジウム
「若き才能へのメッセージ～ヨーロッパの知の拠点ストラスブール大学との学术交流～」
“Message to Young Talents: Academic Exchange with the University of Strasbourg, an Intellectual Hub of Europe”
- ・德音塾特別講演
「今、翼を広げるとき—三淵嘉子と女性のリーダーシップ—」
- ・IGLセミナー
「出会いが導くキャリアのかたち～研究者としての私を育てたもの～」
- ・IGLセミナー
「映画『チョコレートドーナツ』で考える—多様性・家族・法制度のゆくえ—」

後期授業報告

- ・グローバル・リーダーシップ実習 I・II
- ・ダイバーシティ論
- ・女性のキャリアと経済
- ・アカデミック女性リーダーへの道(応用編) 2/6, 9, 10

報告

- ・お茶の水女子大学創立150周年記念大学経営ビジョナリー育成プロジェクト

研究所から

- ・グローバル・リーダーシップ実習 I・II 履修説明会
- ・IGLセミナー開催のお知らせ「世界と自分 つながりの中で生きる」
- ・新しい図書が入りました

2026年度IGL関連授業

- ・2026年度前期・後期授業

お知らせ

若手研究者支援 応募説明会

大学院生・ポスドクの皆さんの研究を
応援します！

グローバルリーダーシップ研究所では、国際的に活躍する女性研究者の育成を目的として、本学の大学院博士後期課程の学生およびポスドク研究者を対象に、海外調査研究や国際学会での発表にかかる海外渡航費の支援を行っています。

これまでに数多くの若手研究者が本支援を活用し、国際的な研究交流の場を広げてきました。

本年度も本制度を通じて、皆さまの研究フィールドがさらに広がることを期待しています。

皆さまのご応募をお待ちしております。

文責：若手研究者支援事務局

応募者向け
説明会の
お申込みは
こちらから



大学院生、
ポスドク向け
海外調査研究や
国際学会発表を
予定している皆さん！

「若手研究者支援」応募説明会

※応募される方は原則にご出席下さい。

2026年3月26日(木) 12:30～13:00
@オンライン(Zoom)

説明会出席申込フォーム



申込予約：3/25(水) 12時

	【海外調査研究】	【国際学会発表】
支援対象	現地における文献や資料の調査、フィールドワーク、新しい研究・実験手法の修得、国内では困難な実験や装置使用などにかかる渡航費(上限30万円)	海外で開催される国際学会での研究成果発表、講演、ポスター発表等、本人が発表するものにかかる渡航費(上限30万円)
対象者	大学院博士後期課程学生、ポスドク、研究者等(ただし、条件あり)	
支援期間	2026年4月1日(水)以降に発行し2027年2月26日(金)に帰国することが可能な調査等	
応募期間	2026年4月1日(水)9:00～5月7日(木)23:59	



後期実施報告

2025年9月から2026年1月にかけての講座群では、リーダーに求められる視点と実践力を多角的に養う機会が提供されました。「リーダーのためのコーチング講座」では、強みを引き出す対話と育成の技法を学び、「イノベーションの創出」では建築デザインの歴史に基づき創造性が生まれる仕組みを理解しました。「マーケティング入門」では顧客価値を高める仕組みづくりを体験的に学び、「コーポレートガバナンス」では不確実性

の高い時代におけるリスク管理と原則に基づく判断力の重要性を再確認しました。さらに「労働法」講座では、職場における差別・ハラスメントや働き方に関する法制度への理解を深めました。

文責:倉脇 雅子
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

2025年9月～2026年1月開催の講座

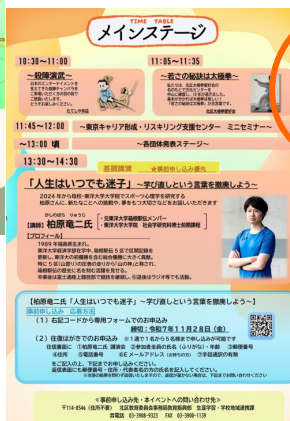
講座番号	日付	講義タイトル	講師名
B03	9/6、20	リーダーのためのコーチング講座	重次 泰子
P04	10/4	イノベーションの創出ー建築デザインを通して考えるー	後藤 武
B04	10/18、25	マーケティング入門	神原 理
E05	12/6、13	経営戦略としてのコーポレートガバナンス	田中 亨子
P05	1/17、24	働くあなたを守る、知っておきたい労働法	内藤 忍

[P]プロフェッショナルレクチャー [B]ビジネス講座 [E]女性のエンパワメントとリーダーシップ講座

北区主催

まなびステップアップフェスタに行ってきました!

2025年12月13日、「北区まなびステップアップフェスタ」に昨年に続き2回目の出展を行いました。会場は多くの来場者でにぎわい、徹音塾の学びや取り組みを直接紹介する貴重な機会となりました。ブースでは子どもや保護者の方々から多くの質問が寄せられ、熱心に話を聞いてくださる姿が印象的でした。昨年も訪れた方から声をかけていただく場面もあり、取り組みが少しずつ広がっていることを実感しました。今回の出展を通じ、より多くの方に徹音塾を知っていただけたことを嬉しく思います。





2026年度開催概要(曜日・時間・開催方式)

平日 19:00~20:30(90分)

土曜日 13:30~15:00(90分)

土曜日 13:30~15:00、15:10~16:40
(90分×2、10分休憩あり)

方式 オンラインと対面(対面会場はお茶の水女子大学)

※1科目から受講いただけます。

※申込み締切は各講座の1週間前となります。

※最新情報は微音塾ウェブサイト・SNSをご覧ください。



Webサイト



X

◇新しいパンフレットができあがりました。

	区分	日付	曜日	回数・時間	開催方式	科目名(講座タイトル)	講師
New	B	5/16, 30	土	2回180分	対面・オンライン	現代マーケティング —顧客の心を動かす体験をデザインする—	高山 美和
	E	5/23	土	1回180分	対面・オンライン	人的資本経営のトレンドと主要トピックス —人事領域での生成AI活用を含めて—	大和田 順子
New	P	6/20	土	1回90分	対面・オンライン	医薬化学研究から殺鼠剤開発へ	棚谷 綾
New	E	7/4	土	1回90分	対面・オンライン	企業理念を起点に企業ブランドを創る —今なぜパーパスなのか—	坂本 香織
New	E	7/11	土	1回90分	対面・オンライン	分断の時代を越える女性のリーダーシップ —ウェルビーイングを軸とした社会変革の可能性—	浅井 明紀子
	B	7/18, 25	土	18日:180分 25日:180分	対面・オンライン	新規事業開発・起業のためのビジネスモデル構築方法 (7/25ゲスト講師 株式会社ハッピーコム 代表取締役 戸田江里子氏)	鹿住 倫世
	P	8/28	金	1回90分	オンライン	組織における女性リーダー育成 —日本企業の課題—	寺村 絵里子
	B	9/5,19	土	2回180分	対面・オンライン	女性リーダーのためのコーチング講座	重次 泰子
	P	9/12, 10/3	土	2回180分	対面・オンライン	働くあなたを守る、知っておきたい労働法	内藤 忍
	P	9/26	土	1回180分	対面・オンライン	イノベーションの創出 —建築デザインを通して考える—	後藤 武
	B	10/17, 24	土	2回180分	オンライン	ビジネスリーダーのための会計入門	成岡 浩一
	E	12/5	土	1回90分	対面・オンライン	しなやかなリーダーシップを考える —キャリア迷子から抜け出すヒント—	境 麻千子

[P]プロフェッショナルレクチャー

[B]ビジネス講座

[E]女性のエンパワーメントとリーダーシップ講座

皆様のご受講お待ちしております!

2025年度みがかずば研究員交流会

本学では、優れた女性研究者の継続的な研究活動を支援し、女性研究者が研究中断後に円滑に現場復帰する機会を提供するために、独自の特別研究員（呼称：みがかずば研究員）制度を導入しています。

2025年度は前期後期合わせて8名が採用され、研究に取り組むとともに、研究員同士の交流の場として、9月12日と2月12日にみがかずば研究員交流会を開催しました。研究員が主体となり企画と運営を行い、研究分野の異なる他の研究員や研究所長、副研究所長との意見交換を通して、自身の研究を客観的に見つめ直す有意義な会となりました。

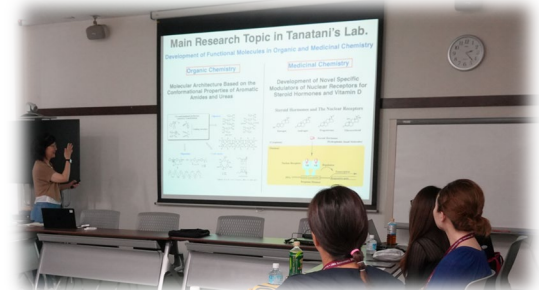
グローバルリーダーシップ研究所では今後も半年に一度を目途に交流会を開催する予定です。

（参考）

女性研究者のための研究継続奨励型「特別研究員制度」（呼称「みがかずば研究員制度」）の創設

HP: <https://www.cf.ocha.ac.jp/igl/j/menu/introduction/d003276.html>

文責：山本うらら
（広報・ダイバーシティ推進課
ダイバーシティ推進担当 係員）



IGLセミナー

「誰もが生き生きと共にある社会を目指して」

誰もが生き生きと共にある社会を目指して

グローバルに活躍するためには、まず、世界から見た日本の社会や文化の現在地をよく理解することが大切です。「当たり前」と思ってきた日常を見直せば、多くの矛盾や課題が見えてきます。私は昔懐かしくニューヨーク、パリ、バンコク、ジュネーブの国際会議に出席し、各国の文化と交流する中で、日本社会の強みと制約を外からの視点で見ることが学んできました。政府の男女平等政策や総務省の国際広報の現場で得た経験に基づき、これからの時代を生きる皆さんとともに、日本社会の在り方について考えてみたいと思います。

Guest Speaker
永田 真一
Masakazu NAGATA
(総務省 政策統括官付国際統計管理官)

Thursday, October 9, 2025 16:40~18:10

お茶の水女子大学 国際交流留学生プラザ2階 多目的ホール
どなたでもご参加いただけます (参加無料、要事前申込み)

Register Now For more information

問合せ先: グローバルリーダーシップ研究所 IGL-seminar@cc.ocha.ac.jp

2025年10月9日、お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所では、永田真一氏（総務省政策統括官付国際統計管理官）をお招きし、セミナー「誰もが生き生きと共にある社会を目指して」を開催しました。当日は学内外から26名が参加し、国際会議や政府広報の現場で培われた永田氏の経験に基づき、日本社会の強みと課題をグローバルな視点から考える機会となりました。講演では、少子高齢化やジェンダー平等の遅れといった構造的課題が示される一方で、国際舞台で評価される日本の協調性や公共性への信頼についても触

れられました。また、政策現場での具体的な取り組みとして、男性育休推進やテレワーク普及などが紹介され、制度改革が社会の空気をどのように変えていくかが語られました。質疑応答では参加者から多様な質問が寄せられ、「当たり前」を見直しながら社会をより良くするために何ができるかを共に考える充実した時間となりました。

文責：倉脇 雅子
（グローバルリーダーシップ研究所
特任講師）





お茶大女性リーダー育成塾
と
徽音塾

特別講演
今、翼を広げるとき
—三淵嘉子と女性のリーダーシップ—

2026.1.10 (土)
13:30～15:00
お茶の水女子大学
徽音堂

<p>講師</p> <p>吉田恵里香氏（脚本家、小説家） 2010年 日本大学芸術学部文芸学科卒業。第40回向田邦子賞。第9回 Anime of the Year (AOTY) - 最優秀彩色賞。2024年NHK連続テレビ小説「虎に翼」の脚本を手掛ける。</p>	<p>概要</p> <p>物語が社会を揺さぶる—。その力を脚本家・吉田恵里香氏が語ります。NHK連続テレビ小説「虎に翼」で描かれた女性たち。その奮闘から見えてきたのは「声をあげることの難しさ」でした。現代にも通じるジェンダーの課題を物語の視点から解きます。心を揺さぶる一日に、ぜひお越しください。</p>
<p>虎に翼</p> <p>2024年4月1日よりNHKで放送されたオリジナルドラマ。モデルは、東京女子高等師範学校附属高等学校（本学附属高等学校）の卒業生で日本初の女性弁護士の一入、三淵嘉子（1914-1984）氏。</p>	<p>対象</p> <p>どなたでも参加いただけます（参加費無料） 対面のみ・事前申込</p>
<p>徽音堂とは</p> <p>お茶の水女子大学 本館中央に位置する講堂。「徽音」とは「美しい音」「美德」を意味し、正面上方には、東伏見寛政子嬢の御手による「徽音堂」の額が掲げられています。</p>	<p>申込み</p> <p>申込みはこちらから⇒ 切 2026年1月5日 (月) 9:00</p> 

【問合せ】 お茶大女性リーダー育成塾徽音塾 E-mail: kiin-le@cc.ocha.ac.jp
【共催】 お茶大女性リーダー育成塾徽音塾 グローバルリーダーシップ研究所

お茶の水女子大学 Ochanomizu University
女性リーダー育成塾 徽音塾
グローバルリーダーシップ研究所 https://www.cf.ocha.ac.jp/ri/ind/index.html



脚本家・小説家 吉田 恵里香氏

お茶の水女子大学創立150周年記念・徽音塾特別講演は、事前申込270名、当日参加197名の多くの皆様にご参加いただき、盛況のうちに開催されました。開会前から徽音堂には多くの来場者が集まり、本講演への高い関心がうかがえました。

開会にあたり、IGL副研究所長、倉光ミナ子先生よりご挨拶があり、本講演会の趣旨をご説明いただきました。

続く講演では、本学附属高校の前身である東京女子高等師範学校附属高等女学校の卒業生、三淵嘉子氏をモデルとしたドラマ脚本を執筆された吉田恵里香氏より、作品が生み出された経緯や、主人公「寅ちゃん」に託した思いについてお話いただきました。

講演の中では、一人一人が健康に留意し自分自身を大切にすること、そして日常の中でふと抱く「はて？」という小さな疑問に耳を澄ませることが、社会課題を考える契機となり、解決へ向かう原動力となることが語られました。

また、参加者から寄せられた質問にも丁寧にご回答くださり、「それぞれの立場で自分にできることを考え、取り組む重要性を改めて感じた」といった感想が多く寄せられました。

閉会挨拶では、IGL研究所長、棚谷綾先生より謝辞が述べられ、強くしなやかな女性リーダー育成に貢献する徽音塾への期待があらためて述べられました。

創立150周年記念事業の一環として開催された本特別講演会に、多くの皆様にご参加いただき、有意義なひとときを共有できましたことを、心より感謝申し上げます。

文責：倉脇 雅子
(グローバルリーダーシップ研究所
特任講師)



IGLセミナー

「出会いが導くキャリアのかたち～研究者としての私を育てたもの～」




2026年1月15日、グローバルリーダーシップ研究所では、IGLセミナー「出会いが導くキャリアのかたち～研究者としての私を育てたもの～」を対面形式で開催し、司会・進行は棚谷が務めました。当日は学内外から22名が参加しました。

講師には、東北大学材料科学高等研究所(WPI-AIMR)主任研究者であり、フランス国立科学研究センター(CNRS)第1級研究部長として国際的に活躍されている小田玲子氏をお迎えしました。小田氏からは、学生時代の経験や研究の転機となった人との出会い、国際共同研究

を通して得られた学びなど、研究者としての歩みが丁寧に紹介されました。挑戦を重ねながらキャリアを形成してきた姿勢は、参加者に大きな示唆を与えました。

後日、参加者から、本セミナーが研究活動の発展や人的ネットワークの形成に大いに役立ったとの報告が寄せられ、研究者育成の観点からも非常に実り多い機会となりました。

文責：棚谷 綾
(グローバルリーダーシップ研究所長)

	
<p>出会いが導くキャリアのかたち ～研究者としての私を育てたもの～</p> <p>小田 玲子 先生</p> <p>東北大学材料科学高等研究所 (WPI-AIMR) 主任研究者 フランス国立科学研究センター (CNRS) 第1級研究部長</p> 	
<p>2026</p> <p>1/15 (木)</p> <p>15:00～16:30</p> <p>人間文化創成科学研究科棟604室</p>	<p>○ 概要</p> <p>研究者としての人生は、さまざまな出会いと挑戦の連続です。異なる分野との交流から生まれる革新的な発見、変化を恐れずに挑む研究者としてのマインドの育て方、そして国際共同研究を通じて実感した多様性の価値や、失敗を糧に成長へとつなげる柔軟な思考法について、自身の具体的な体験を交えてお話しします。</p> <p>また、研究活動にとどまらず、教育や国際交流といった幅広い経験が研究者としての成長にどうつながるのか、チームビルディングやダイバーシティ推進の実践例を交えながらご紹介します。研究に携わる皆様とともに、多様な出会いが切り開く研究者人生の新たな可能性について、考える時間を共有できればと思います。</p>
<p>○ 司会</p> <p>グローバルリーダーシップ研究所長 お茶の水女子大学長幹事 自然科学系理学院化学科教授 棚谷 綾</p>	<p>お申込はこちら</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 入場無料 要事前申込 ・ どなたでもご参加いただけます <p>グローバルリーダーシップ研究所 IGL-seminar@cc.ocha.ac.jp</p>



IGLセミナー

「映画『チョコレートドーナツ』で考える—多様性・家族・法制度のゆくえ」

<p>グローバルリーダーシップ研究所セミナー</p>	
<p>映画『チョコレートドーナツ』で考える 多様性・家族・法制度のゆくえ</p>	
<p>日時：2026年1月16日 (金) 11:30-12:30</p> <p>会場：国際交流留学生プラザ2階 多目的ホール</p> <p>対象者：本字学生・留学生・本学教職員</p> <p>事前参加登録：https://forms.office.com/r/jnt7A2p8sr</p> 	
<p>本セミナーでは、映画『チョコレートドーナツ』(2012)の一部鑑賞を通じ、作品に描かれるインターセクシュナリティ(複数の属性が重なることで生じる不平等)について理解を深めます。性的マイノリティ、障がい、貧困など、単一の要素では捉えきれない「生きづらさ」の構造に焦点を当て、社会的偏見や日本社会の制度的課題を参加者同士でディスカッションします。</p>	
<p>企画者</p> <p>矢野 彰彰 (文教育学部 言語文化学科 グローバル文化環境コース 4年)</p> <p>新野 星 (生活科学部 人間・環境科学科 3年)</p> <p>張 潔 (グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)</p>	
<p>プログラム</p> <p>11:30-11:35 オープニング (5分)</p> <p>11:35-12:00 映画『チョコレートドーナツ』鑑賞 (25分)</p> <p>12:00-12:20 グループディスカッション (20分)</p> <p>12:20-12:30 全体共有・クロージング (10分)</p>	
<p>問合せ：グローバルリーダーシップ研究所 IGL-seminar@cc.ocha.ac.jp</p>	

2026年1月16日、グローバルリーダーシップ研究所主催セミナー「映画『チョコレートドーナツ』で考える—多様性・家族・法制度のゆくえ」をお茶の水女子大学にて開催しました。本セミナーでは、映画の一部を鑑賞した後、インターセクシュナリティの視点から、性的マイノリティ、障がい、貧困、多様な家族形態などが重なり合うことで生じる困難について理解を深めました。上映後のディスカッションでは、登場人物の言動や当時の社会的背景を手がかりに、偏見の構造や日本社会における制度的課題について活発な意見交換が行われました。参加者は、それぞれの立場から多様性と包摂の在り方を考え直し、現代社会の課題を自分事として捉える貴重な学びの機会となりました。

文責：張 潔
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)



グローバル・リーダーシップ実習 I・II



本授業は、実践的な学びを通じて、学生のリーダーシップスキルの育成を目的としています。「グローバル・リーダーシップ実習 I」では、日本語・英語による講義を通して、自己理解や多様性への向き合い方、対話力の基礎を学びました。また、「グローバル・リーダーシップ実習 II」では、イタリアのコッレージョ・ヌオーヴォにて、ソフトスキルの向上を目的とした海外実習を実施しました。

今年度は11名の学生が参加し、2026年2月17日から28日までの期間に現地での研修に取り組みました。研修期間中は、英語によるソフトスキルに関する授業を受講するとともに、現地で活躍する女性リーダーへの訪問を通して、国際的な視野と実践的なリーダーシップについて学びました。本授業を通じて、学生たちは自己理解を深めるとともに、多様な価値観と向き合いながら行動する力を養い、今後の学修やキャリア形成につながる貴重な経験を積むことができました。

文責：張 潔

(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

ダイバーシティ論

本授業では、組織におけるダイバーシティ推進や女性のリーダーシップに焦点を当て、現代社会における多様性の在り方について体系的に学びました。講義やアクティブ・ラーニングを通じて、ダイバーシティの概念や社会的背景、国際比較、メディアにおける表象、働き方の多様性などについて、多角的な視点から考察を行いました。

特に、企業における女性活躍やリーダーシップ育成に関する事例や統計データを用いた分析を通して、制度や職場環境の重要性について実践的に理解を深めました。

グループワークや発表では、学生同士が活発に意見を交わしながら主体的に学びを深め、将来のキャリア形成や社会参画につながる思考力・対話力・提案力を養う機会となりました。

文責：張 潔

(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

女性のキャリアと経済

今年度の本講座は担当教員による講義を基本しつつ、受講生による解答発表なども積極的に取り入れた interactive なスタイルで行いました。生成AIの普及なども含め我々を取り巻く社会・情報環境が大きく変化する中、本学の学生がどのような職業分野に進んだ場合でも活用し得る critical thinking のリテラシー習得に主眼を置き、経済分析の基本的な考え方、情報・データの評価方法、日本の労働市場の考察、因果分析やベイズ推論の初歩、デジタル空間の社会心理学などについて、学生にも馴染みやすい日常的なトピックを取り上げながら、掘り下げた議論を行うように努めました。あらかじめ受講生に多少の数理的センスを期待したことが影響したためか、履修者

数は昨年よりやや少なめとなりましたが、その分、受講した学生はいずれもハイレベルの理解力と学習意欲に溢れており、全体を通じて担当教員の期待を上回る活発でユニークなやり取りが展開されました。また、これまでと同様、提携先の福井県からも数名の女性社会人が特別聴講の形で参加しました。

文責：松下 顕

(グローバルリーダーシップ研究所 客員教授)

お茶の水女子大学
Ochanomizu University

2025年度 後期・集中講座履修者募集

アカデミック女性リーダーへの道
【対象】博士前期課程・後期課程の学生 (応用編)
初日はどなたもご参加OK。学部生、履修登録のない方歓迎します！

**学振特別研究員を目指している
皆さん必見！**

研究計画・資金調達・プレゼンのコツを学んで採用される
確率を上げましょう！

初日は、どなたでも！
学部生、履修登録のない方もぜひ！
事前申し込み不要。

2026年2月6日(金)10:00~16:30 *対面授業
共通講義棟2号館 2階・201室
・審査委員ご経験の先生方による講義
・日本学術振興会特別研究員による体験談および討論

2026年2月9日(月)10:00~16:30 *対面またはオンライン
・実習1 応募書類作成
教員・学振特別研究員からの個別アドバイス

2026年2月10日(火)9:00~17:00 *対面
人間文化創成科学棟 大会議室6階・604室
・実習2 研究紹介発表
魅せるプレゼンテーションスキルアップ講座
横道安永先生(東京大学大学院情報学環 助教)

注意事項
・履修者(単位取得希望者)は必ず三日前出席してください。
・3月終了予定の方は、聴講扱いとなります。詳細は下記にお問合せください。

お問合せ先:お茶の水女子大学
グローバルリーダーシップ研究所
e-mail:igl-jujyo@cc.ocha.ac.jp



本授業は、大学院生を対象に日本学術振興会(JSPS)特別研究員の申請準備と研究発表のプレゼンテーション能力向上を目的として開講しました。内容は、(1)競争的研究費の審査経験を持つ学内教員および現役学振特別研究員による講義、(2)学振申請書作成の実習、(3)研究発表を想定したプレゼンテーション実習の三日間で構成し、実践的に学べるプログラムとなっています。履修者は聴講2名を含む21名で、文系・理系を問わず多くの大学院生が参加しました。授業後の履修者アンケートでは、講義内容が具体的で実務的に役立つ、講師および特別研究員からの助言が申請準備に大いに参考になったとの回答が多数寄せられました。次年度の学振申請のみならず、外部資金の獲得や公募書類作成など、今後の研究活動に向けて自信がついたとの声も多く、受講者の成長がうかがえる有意義な授業となりました。

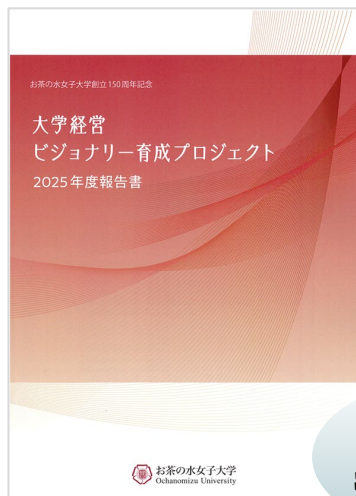
文責:倉脇 雅子
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

報告

お茶の水女子大学創立150周年記念大学経営ビジョナリー育成プロジェクト

お茶の水女子大学は、創立150周年記念事業として、次世代の女性大学経営人材の育成を目的とする「大学経営ビジョナリー育成プロジェクト」を実施しました。本事業は、久能祐子氏のご支援のもと、京都大学・東京大学と連携して行われ、三大学から選抜された9名の女性教員がフェローとして参加しました。事前研修では、講演やグループワークを通じて課題意識を共有し、2025年8月から9月にかけて実施したワシントンD.C.およびニューヨークでの海外研修では、大学経営や国際連携に関する実践的な学びを深めました。帰国後の報告会では、研修成果や今後の展望が共有され、大学の枠を超えたネットワークの構築と、次世代女性リーダー育成への大きな一歩となりました。

文責:張 潔
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)



報告書が
出来上がりました！

2026年度IGL関連授業

2026年度前期・後期授業

お茶の水女子大学のリーダーシップ養成に関する研究及び教育の拠点であり、ダイバーシティ推進の実施組織であるグローバルリーダーシップ研究所が提供する予定の授業のご紹介です。積極的な受講をお待ちしています。
(CDP:キャリアデザインプログラム(CDP) 基幹科目の授業、T-COCOA:「革新」×「共創」で未来を拓く女性博士育成プロジェクトの授業です)

対象	科目名 【授業コード】	単位	開講 時期	授業の概要
学部生	お茶の水女子大学論 【26A0019】【CDP】	2	前期 水曜 9・10限	本授業は、お茶大の歴史と現在を理解し、自らの将来像を描く力を育むことを目的としています。学長講演や特別講義、卒業生の皆さまによるご講演を通して多様なキャリア観に触れ、学内インターンシップ制度や学生の特徴を学ぶことで学生生活の充実につなげます。さらに、企業活動や起業の基礎について学び、社会で求められる視点を養います。
学部生	総合コース 【26A0034】【CDP】	2	前期 集中	アクセンチュア株式会社協力のもと、本学卒業生を含む同社員による講義や、社員と学生とのグループワークを通して、仕事、キャリア、グローバル人材とは何かについて学び考え、自らのキャリアプランを考えることを目的としています。
大学院生	キャリア開発特論(基礎編) 【26S2006】			
学部生	女性のキャリアと経済 【26N0092】【CDP】	2	後期 火曜 9・10限	変化の激しい現在、女性社会人がキャリア形成の中で直面する課題のうち、経済・労働・テクノロジーの分野を中心に、論理的思考のリテラシーを学際的に議論する授業です。
学部生	NEW メディアと情報リテラシー 【26N3097】【CDP】	2	後期 水曜 7・8限	本講義は情報過多社会で主体的に活躍するためのメディア情報リテラシーと聞く力・書く力を養います。真偽確認やアルゴリズム理解、クリティカルシンキングについての実践的な学びや、インタビュー実施、記事輪読を通じた質問法と伝わる文章作成法を習得します。
学部生	女性のキャリアと法制度 【26N0094】【CDP】	2	後期 木曜 5・6限	本講義では、女性のキャリアと法制度をウェルビーイングの視点から学びます。社会構造や労働法、生活とキャリアの関係、価値観に基づくキャリアデザインを扱い、事例や演習を通して自分らしい働き方を考える力を育みます。
学部生	ダイバーシティ論 【26N0095】【CDP】	2	後期 金曜 3・4限	特に組織におけるダイバーシティに焦点を当てながら女性のリーダーシップについても学びます。ダイバーシティを推し進めるにはどのような「仕組み」が有効なのか、アクティブ・ラーニングやインタラクティブな授業を通じて履修生と一緒に考えます。
学部生	NEW 総合コース(NPO法人J-Win) 【26A0372】【CDP】	2	後期 不定期	本授業は、キャリアについて主体的に考える力を育て、インターンシップ準備や業界研究に役立つ内容です。企業の女性役員による対面授業に加え、企業訪問やワークショップを行います。これらを通して多様なキャリア理解や価値観・強みを発見し、社会で活躍する視点を習得します。
大学院生	NEW キャリア開発特論(応用編) 【26S2007】【T-COCOA】			
学部生	グローバル・リーダーシップ実習Ⅰ 【26N3087】【CDP】	2	後期 不定期	授業で学んだリーダーシップスキルを実践できるように、大学の内外で提供される様々な機会を活用し、社会やコミュニティとのつながりのなかで国連サミットが掲げるSDGsのような現代的諸課題を意識しながら自らのテーマを見出し、自己の成長にとどまることのない、より広い意味でのリーダーシップを探求します。グローバル・リーダーシップ実習Ⅱではイタリアに実習に行きます。
学部生	グローバル・リーダーシップ実習Ⅱ 【26N3088】【CDP】	2		
大学院生	アカデミック女性リーダーへの道 (応用編)【26S0133】	2	後期 集中	本授業は、公募申請書類における研究計画書の書き方と、効果的なプレゼンテーションに関する知識とスキルを高めることを目的としています。日本学術振興会(学振・科研費等)の審査経験を有する教員や特別研究員による講義を通じて、申請書作成の要点を学びます。さらに、研究計画書の作成実習やプレゼンテーション実習を行い、実践的な能力を身につける機会を提供します。

※開講日程や講義詳細はシラバス【授業コード】をご覧ください。

※履修登録については、学務課へお問合せください。

